

(様式1)

入札参加資格認定後、名称の変更を届出されている場合は、その旨が分かるよう記入してください。

記入例

# 有資格者数の変更等届

平成31年 2月 日

大阪府知事 様

所在地 大阪市中央区大手前〇-〇-〇  
 商号又は名称 大阪府公共建築設計事務所 **【変更あり】**  
 代表者名 公共 建太郎  
 担当者：公共 建太郎  
 (Tel. 06-〇〇〇〇-〇〇〇〇 )  
 業者(ID)番号 〇〇〇〇〇〇〇〇

本届に関するご担当者の氏名、電話番号を記入してください。

押印は不要です。

平成31年度住宅まちづくり部建築設計業務入札参加資格者の区分基準第4に基づき、有資格者数の変更等届を提出します。

記

1. 区分結果について (該当するものに〇を付けてください)

平成30年度 I・II・III (現在ホームページで公表されている区分)

平成31年度 I・II・III (2で算出した区分)

→区分の変更の有無 (該当するものに〇を付けてください)

有 無

2. 平成31年2月1日現在、府内営業所に在籍する有資格者数

①欄に有資格者数を入力し、評価点数を記載してください

	有資格者数 ①	評価点/人 ②	評価点数 ①×②
一級建築士	4	5	20
二級建築士	1	2	2
建築積算資格者	2	2	4
		計	26

水色のセルについて記載してください。

※ 記載する有資格者数の内訳を技術職員調書に記載してください。

\* 本届は、技術職員調書を添付のうえ、受付期間中(平成31年2月1日~2月14日)にメールで提出願います。

\* 本届は、有資格者の異動等により区分結果に**変更が生じる場合は必ず提出してください**。上記2で算定された評価点数の合計点から、該当する区分を確認(下表参照)してください。

区分	評価点数 合計点
I	40点以上
II	25 ~ 39点
III	2 ~ 24点

評価点数の合計点が26点の場合、区分は「II」に該当する。

平成30年度の区分は「III」だった。

⇒変更等届の提出が必要

\* 現在の区分は、下記ホームページで公表しています。

[http://www.pref.osaka.lg.jp/koken\\_keikaku/hattyu\\_kennkonn/h30\\_kenchikushikaku.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/koken_keikaku/hattyu_kennkonn/h30_kenchikushikaku.html)

(様式2)

## 技術職員調書

業者(ID)番号	〇〇〇〇〇〇〇
業者名称(商号)	大阪府公共建築設計事務所
府内営業所名	大阪事務所

一級建築士 4名、二級建築士 1名、建築積算資格者 2名  
この人数を変更等届の有資格者数に入力

平成31年2月1日現在

技術職員氏名	資格	登録年月日	登録番号
大阪 太郎	建築士(一級・二級)	平成〇年〇月〇日	第〇〇〇〇〇号
	建築積算資格者	平成△年△月△日	第△△△△△号
計画 花子	建築士(一級・二級)	平成×年×月×日	第×××××号
	建築積算資格者	平成☆年☆月☆日	第☆☆☆☆☆号
推進 次郎	建築士(一級・二級)	平成◇年◇月◇日	第◇◇◇◇◇号
大手前 三郎	建築士(一級・二級)	平成□年□月□日	第□□□□□号
	建築積算資格者		
咲洲 高子	建築士(一級・二級)	平成▽年▽月▽日	第▽▽▽▽▽号
	建築積算資格者		
	建築士(一級・二級)		
	建築積算資格者		
	建築士(一級・二級)		
	建築積算資格者		
	建築士(一級・二級)		
	建築積算資格者		
	建築士(一級・二級)		
	建築積算資格者		

\* 資格は、一級建築士、二級建築士、建築積算資格者から選択。一級建築士と二級建築士の両方を有している者は、一級のみ記載すること。また、一級建築士で構造設計一級、設備設計一級を有するものは重複して記載しないこと。なお、建築士と建築積算資格者の両方を有している者は両方を記載すること。

\* 平成31年2月1日現在、府内の営業所(大阪府と契約する営業所)に在籍する有資格者のみ記載すること。

\* 技術職員調書に資格者証等の写しの添付は必要ありません。